

第26回水俣・芦北地域雇用創造協議会 総会

資 料

議 決 事 項

議案第1号 令和3年度(2021年度)変更事業実施計画及び補正予算案 について	P1~
--	-----

議案第1号

令和3年度(2021年度)変更事業実施計画案及び補正予算案について

令和3年度(2021年度)変更事業実施計画案及び補正予算案について、規約第17条の規定により本総会の議決を求める。

<提案理由>

令和2年7月豪雨による被災地復興のための県(観光企画課)事業「水俣・芦北豪雨被災地観光復興支援事業」の実施に伴い、地域内物産館・直売所・道の駅を活用した地域特産品の送料無料キャンペーンに係る事務の委託を受けたことにより、事業実施計画の変更及び補正予算が必要となったため。

被災地域産業再興支援事業 5,000千円の増額

令和3年(2021年)12月8日

水俣・芦北地域雇用創造協議会
会長 江藤 公俊

令和3年度(2021年度)変更事業実施計画及び補正予算案について

1 目的

「地域の資源を活用し、環境と共生する持続可能な地域づくり」を基本理念とする第七次水俣・芦北地域振興計画の基本施策1「水俣・芦北地域への『流れ』の拡大」に基づき、これまで取り組んできた産業振興による地域活性化の流れを更に強化するため、地場企業の支援、農林水産業の振興等、当地域の強みやニーズを活かした取組みを推進する。

特に、地域経済や雇用面で重要な役割を担う地場の中小企業、とりわけ小規模企業へ焦点を当て、ニーズに対応した総合的な支援に取り組むこととし、地域一体となった第一次産業の振興、六次産業化、観光振興等、総合的な産業振興に取り組む。

令和3年度(2021年度)は、引き続き、環境配慮型農業の推進、和紅茶、マガキ、林産材をはじめとする地域製品のブランド力の強化、観光素材の磨き上げを図り、各種展示商談会への出展等により商談機会の創出・販路拡大を行う。

なお、海外展開や観光振興に係る取組みについては、新型コロナウイルス感染状況を見極めながら柔軟に対応する。

また、令和2年7月豪雨災害により、被災した事業者の当面の収益確保や地域産業一体となった販路創出など、地域産業全体の再興に向けた取組みを行う。

2 事業内容

(1) 環境配慮型農業推進事業

農薬や肥料に頼らない環境配慮型の農業を地域全体で実践するため、生産者向け栽培技術講習会を開催するとともに、当地域に点在する狭小農地においても持続可能な環境配慮型農産物の実証栽培と販路開拓を併せて行うことで環境首都にふさわしい食と農の地域ブランドを確立する。

[具体的な取組み]

○環境配慮型農産物実証栽培の推進

- ・アボカド栽培技術専門家による訪問技術指導
- ・アボカドの実証栽培及び苗木生産・販売システムの構築
- ・環境配慮型農業(無肥料、無農薬栽培)実践塾の開催
- ・瀬戸石ダム底泥を活用した新たな環境配慮型農業の検証

○中山間地域における狭小農地営農モデルの確立

- ・狭小農地を活用した営農モデルを確立するための環境配慮型の高付加価値農産物の実証栽培・販路開拓

(2) 異業種間連携・販路開拓支援事業

食や健康の分野において、当地域の優れた地域資源の持つ成分、加工技術、保存技術、地域の伝統文化を活用して、農商工連携・六次産業化による付加価値の高い商品開発を行うとともに、パッケージデザインや販売戦略の検討、新たな販路の開拓を行うなど、新産業の創出を図る。

[具体的な取組み]

- 地域産品を活用した新商品開発
 - ・地域産品を活用した新商品の開発支援
- 展示商談会・都市圏物産展出展
 - ・食に関する展示会・商談会への出展
(FABEX2021 など)
 - ・都市圏物産展への出店
(銀座熊本館、新梅田食堂街など)
- 地域産品のブランディング・販路開拓
 - ・地域産品の大都市圏・海外の販路開拓に向けた商品の磨き上げ・販売支援
 - ・駅ビルレストラン街 (JR 博多くうてん) での「水俣・芦北フェア」による販路開拓
 - ・地域産品の情報発信・サンプル提供
- 和紅茶ブランディング
 - ・講師派遣、みなまた和紅茶四天王の紅茶に関する資格取得

(3) 水産物ブランド化支援事業

水産物のブランド化、マガキの養殖・販路拡大を実施し、地域資源の新たな特産化を図る。併せて、活魚、鮮魚及び水産加工品等の販売を強化するため、地域内の加工所、直売所と連携して、水産物のブランド化を推進する。

[具体的な取組み]

- 水産資源ブランディング
 - ・アドバイザー派遣
- マガキ養殖・販路拡大
 - ・マガキ稚貝購入・貝毒検査
 - ・カキ小屋 PR 広告・宣伝、販路拡大
- 水産物加工所、直売所における加工品等の試作試験
 - ・加工所で製造する加工品の試作試験
 - ・直売所で提供する飲食メニューの開発
- アジアカエビ試験養殖
 - ・アジアカエビ試験養殖

(4) 水俣・芦北観光応援事業

地域資源を生かした着地型旅行商品を充実させるため、素材の発掘、旅行商品化や情報発信を効果的に行うなど、交流人口を最大化させ、産業振興と雇用確保を図る。

[具体的な取組み]

- 旅行商品開発
 - ・素材の発掘・磨き上げ、商品化
 - ・旅行会社への営業活動
- インバウンド誘客
 - ・FIT 向け旅行商品の開発
 - ・旅行会社等への営業活動

○情報発信

- ・情報誌等への地域観光情報掲載

(5) 地元林産材活用推進事業

林家や製材所等の所得向上を図るため、地元林産材を利用した雑貨等の商品化や地元林産材のPRを行う。

[具体的な取組み]

○地元林産材の高付加価値化

- ・地元林産材を活用した商品開発・サンプル制作

○「和室」の輸出促進

- ・現地商談、現場視察等
- ・展示会への出展

(6) 人材育成事業

地域内外の関係者と連携した創意工夫による人材育成、就職支援等による雇用創出を図る。

[具体的な取組み]

○セミナー開催・受講料の一部助成

- ・求職者向けセミナーの開催
- ・研修受講料の一部助成（技能後継者・福祉医療関係）

○高校生の就職支援

- ・地元企業による企業説明会の実施
- ・地元企業見学会の実施
- ・就職模擬面接会の実施

○ガストロノミーマネジメントの推進

- ・大学等と連携した出前授業の実施、フィールドワーク受入等

○事務局経費

- ・会計年度任用職員人件費、事務局運営費

(7) 被災地域産業再興支援事業

令和2年7月豪雨により被災した芦北・水俣地域においては、「地域産業」、「まち」そのものが失われかねない危機に直面していることから、当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域産業全体の再興を総合的に後押しする。

[具体的な取組み]

○地域産品を活用した新たな商品開発

- ・地域産品を活用した新商品の開発支援

○熊本都市圏や県外に向けた地域産品の販売促進・情報発信

- ・他団体と連携した復興物産展での販売支援
- ・SNS、熊本都市圏や県外の地域情報誌を活用した情報発信

○物産館・道の駅を活用した地域特産品送料無料キャンペーン (5,000千円増)

- ・地域内の物産館・直売所・道の駅を活用した地域産品送料無料キャンペーン

令和3年度(2021年度)水俣・芦北地域雇用創造協議会 補正予算(案)

(単位:千円)

<収入>

経費区分	内 容	R3年度 現計予算額	今回補正額	補正後予算額
1 負担金	県	46,950		46,950
2 委託金	県(観光企画課)委託事業の再委託	0	5,000	5,000
3 繰越金		3,621		3,621
4 諸収入	預金利子	1		1
収 入 計		50,572	5,000	55,572

<支出>

経費区分	内 容	R3年度 現計予算額	今回補正額	補正後予算額
事業費		50,571	5,000	55,571
1 環境配慮型農業 推進事業	・環境配慮型農産物実証栽培 ・狭小農地営農モデルの確立	8,200		8,200
2 異業種間連携・ 販路開拓支援事業	・地域産品を活用した新商品開発 ・展示商談会・都市圏物産展出展 ・地域産品ブランディング・販路開拓 ・和紅茶ブランディング	14,790		14,790
3 水産物ブランド化 支援事業	・水産資源ブランディング ・マガキ養殖・販路拡大 ・加工品等の試作試験 ・アジアカエビ試験養殖	6,900		6,900
4 水俣・芦北観光 応援社事業	・旅行商品開発 (素材の商品化、営業活動等) ・インバウンド誘客 ・情報発信	5,250		5,250
5 地元林産材活用 推進事業	・地元林産材の高付加価値化 ・「和室」の輸出促進	3,000		3,000
6 人材育成事業	・セミナー開催・受講料の一部助成 ・高校生の就職支援 ・ガストロミーマネジメントの推進 ・事務局経費	8,431		8,431
7 被災地域産業再興 支援事業	・地域産品を活用した新たな商品開発 ・地域産品の販売促進・情報発信 ・地域特産品送料無料キャンペーン	4,000	5,000	9,000
予備費		1	0	1
支 出 計		50,572	5,000	55,572